



2026年7月10日

各 位

会 社 名 近鉄グループホールディングス株式会社
代 表 者 名 代表取締役社長 若井 敬
コード番号 9041
上場取引所 東証プライム市場
問 合 せ 先 総合政策本部経営企画部長 福島登紀子
(TEL 06-6775-3374)

連結子会社（株式会社近鉄百貨店）の業績予想の修正に関するお知らせ

当社の連結子会社である株式会社近鉄百貨店が、2026年4月10日に公表した2027年2月期第2四半期（中間期）（2026年3月1日～2026年8月31日）および2027年2月期通期（2026年3月1日～2027年2月28日）の業績予想を本日別添資料のとおり修正しましたので、お知らせいたします。

なお、これによる当社の連結業績予想の修正はありません。

以 上



2026年7月10日

各位

会社名 株式会社 近鉄百貨店
代表者名 代表取締役 社長執行役員 梶間 隆弘
(コード番号8244 東証スタンダード市場)
問合せ先 執行役員 業務本部長 川瀬 雅一
(TEL. 06-6655-7030)

業績予想（連結・個別）の修正に関するお知らせ

当社は、2026年4月10日に公表いたしました2027年2月期第2四半期（中間期）及び通期の業績予想を下記のとおり修正いたしましたので、お知らせいたします。

記

1. 連結業績予想数値の修正について

(1) 2027年2月期第2四半期（中間期）の連結業績予想の修正（2026年3月1日～2026年8月31日）

	売上高	営業利益	経常利益	親会社株主に帰属する中間純利益	1株当たり中間純利益
	百万円	百万円	百万円	百万円	円 銭
前回発表予想（A）	56,000	1,800	1,700	1,000	24.77
今回修正予想（B）	57,000	2,700	2,700	1,700	42.10
増減額（B－A）	1,000	900	1,000	700	—
増減率（％）	1.8	50.0	58.8	70.0	—
（ご参考）前期第2四半期実績 （2026年2月期第2四半期）	62,546	2,620	2,630	3,580	91.11

(2) 2027年2月期通期の連結業績予想の修正（2026年3月1日～2027年2月28日）

	売上高	営業利益	経常利益	親会社株主に帰属する当期純利益	1株当たり当期純利益
	百万円	百万円	百万円	百万円	円 銭
前回発表予想（A）	115,000	5,400	5,200	3,700	91.64
今回修正予想（B）	116,000	5,600	5,500	3,900	96.59
増減額（B－A）	1,000	200	300	200	—
増減率（％）	0.9	3.7	5.8	5.4	—
（ご参考）前期実績 （2026年2月期）	125,450	6,718	6,613	3,709	93.56

2. 個別業績予想数値の修正について

(1) 2027年2月期第2四半期(中間期)の個別業績予想の修正(2026年3月1日~2026年8月31日)

	売上高	営業利益	経常利益	中間純利益	1株当たり 中間純利益
	百万円	百万円	百万円	百万円	円 銭
前回発表予想(A)	45,200	1,600	1,400	800	19.81
今回修正予想(B)	46,000	2,400	2,300	1,400	34.67
増減額(B-A)	800	800	900	600	—
増減率(%)	1.8	50.0	64.3	75.0	—
(ご参考)前期第2四半期実績 (2026年2月期第2四半期)	52,129	2,361	2,499	3,516	89.50

(2) 2027年2月期通期の個別業績予想の修正(2026年3月1日~2027年2月28日)

	売上高	営業利益	経常利益	当期純利益	1株当たり 当期純利益
	百万円	百万円	百万円	百万円	円 銭
前回発表予想(A)	93,000	4,700	4,300	3,200	79.26
今回修正予想(B)	93,800	4,800	4,500	3,300	81.73
増減額(B-A)	800	100	200	100	—
増減率(%)	0.9	2.1	4.7	3.1	—
(ご参考)前期実績 (2026年2月期)	104,768	6,001	5,770	3,107	78.37

3. 修正の理由

2027年2月期第1四半期において、当社の業績は、円安を背景とした免税売上が堅調だったほか、あべのハルカス近鉄本店の惣菜売場改装や各催事が好調に推移いたしました。また、内装業におきまして、株式会社近創が当初想定を上回る受注を獲得し、業績に寄与いたしました。

これらの結果、2027年2月期第2四半期(中間期)の個別及び連結業績予想につきましては、売上高及び各段階利益が前回発表予想を上回る見通しとなりました。

2027年2月期通期の個別及び連結業績予想につきましても、下半期中東情勢に起因する物価高によるコストの増加等を織り込み、売上高及び各段階利益が前回発表予想を上回る見通しとなりました。

(注)上記の業績予想は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。

以 上